

令和4年度 沖縄海区漁業調整委員会開催状況

	開催日時・場所	議 題	内 容
第 1 回	令和4年4月8日 14時～15時05分 沖縄県庁6階 特別第2会議室	(議案1) 浮魚礁の浮魚礁の敷設承認申請について	新規3基(3漁協)、再承認申請が12基(1市・3漁協)あり。原案のとおり全て承認された。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で琉球大学ウミガメ研究会ちゅらがーみーから申請があり。原案のとおり承認された。
		(議案3) 知事許可漁業の許可に係る制限措置等の公示案について(諮問)	知事許可漁業のうち、潜水器漁業・さんご漁業・まぐろはえ縄漁業・かつお一本釣漁業及び底魚一本釣漁業の新規の許可の公示案について、知事より諮問があった。委員からは異議はなく、異議のない旨答申する事務局案のとおり承認された。
		(報告事項1) アカジン・マクブの体長制限に係る委員会指示改正の作業スケジュールについて	令和4年4月から、委員会指示の対象を沖縄島周辺海域に拡大して運用している。今後、宮古・八重山地区で意見照会して、各組合の意思確認を行い、賛同が得られれば、これらの地区にも拡大し、同時に遊漁者にも適用するためにパブリックコメントを実施する予定であることが報告された。
		(報告事項2) ウミガメの採捕状況について	ウミガメの採捕は委員会での承認が必要となっている。アオウミガメは増加傾向にありながら、承認申請数が承認枠を下回る状況が続いているため、アオウミガメについては承認の基準を、申請数＝承認数が可能ではないかとの報告があった。
第 2 回	令和4年5月13日 14時12分～15時25分 沖縄県自治研修所 8階特別研修室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が5基(4漁協)、再承認申請が18基(2市町・7漁協)あり。原案のとおり全て承認された。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で全国水産技術協会から申請があり。原案のとおり承認された。
		(議案3) 沖縄県漁業調整委員会指示違反に対する処分方針の改正について	現行の委員会指示である「沖縄海区漁業調整委員会指示に対する処分方針」は、漁業法の改正や委員会指示の変更に伴い、改正が必要となっていた。令和3年度第12回の委員会でも改正案が承認され、県ホームページで1ヶ月間パブリックコメントを募集したところ、意見は寄せられなかったことを報告した。原案のとおり承認された。
		(議案4) ソデイカの採捕承認申請について	試験研究目的で、沖縄科学技術大学院大学から、禁漁期間の6月にソデイカの採捕を行う申請があり。原案のとおり承認された。
		(報告事項1) くろまぐろ知事管理漁獲可能量の変更について(事後報告)	くろまぐろの令和4管理年度の知事管理漁獲可能量の変更については、予め委員会において答申されていたため、事後報告とする。 変更内容は、都道府県別に定めた数量のうち、くろまぐろ(大型魚)の本県への配分量147トンに、追加配分が36.6トン、去年からの自県の繰越しが12.7トンあったことから、計49.3トン増の196.3トンとなった。
(報告事項2) 次期漁業権に関する要望調査の進捗状況について	現在免許されている全ての漁業権(共同・区画・特区・定置)は、存続期間が令和5年8月31日までとなっているため、同年9月1日付けの一斉切替に向け作業を進めている。この手続における今後のスケジュールと現在の進捗状況について説明を行った。		

開催日時・場所	議 題	内 容
第3回 令和4年6月10日 14時～15時19分 沖縄県庁6階 特別第2会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が2基(1漁協)、再承認申請が125基(市町村・漁協)あり。原案のとおり全て承認された。
	(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的1件(石垣島ウミガメ研究会)の申請があった。原案のとおり承認された。
	(協議事項1) ソデイカ委員会指示に向けたスケジュールについて	今年の9月末に現在のソデイカの委員会指示の期限が切れるため、新たな委員会指示の発動のために、9月の海区委員会では、その委員会指示が議案として提案される見込みである。今後の作業内容とスケジュールの事務局案について説明を行った。また7月15日に奄美海区漁業調整委員会事務局とWebにて情報交換を行うことも報告した。
	(報告事項1) 資源管理状況等の報告と次期切替要望のとりまとめ結果及び、漁場計画素案について	令和5年度に、漁業権の一斉更新が行われる予定である。それに向けて、漁業権者から提出された資源管理状況等報告の取りまとめと来年5月の次期漁業権切替に係る要望調査の取りまとめの結果についての報告があった。また、今後のスケジュールと今年の8月に漁場計画(素案)作成についての報告もあった。
	(報告事項2) 全国漁業調整委員会連合会九州ブロックの議題等について	全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議は、10月27日～28日に長崎市内で開催が予定されている。この会議に、全国と九州との2種類の要望事項を8月末までに提出する予定である。本年度は、前年度の3件を継続して提出予定であることを説明した。
(その他) 海区漁業調整委員会指示違反に対する処分方針改正の施行について	第2回委員会で承認された海区漁業調整委員会指示違反に対する処分方針改正が6月1日に施行され、委員会のHPでの公表と関係機関の周知実施を報告した。	

開催日時・場所	議 題	内 容
第4回 令和4年7月8日 14時～16時10分 沖縄県庁6階 特別第2会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が3基(1漁協、1村)、再承認申請16基(市町村・漁協11基、県5基)あり。全て原案のとおり承認された。
	(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で4件(個人1件、大学・研究機関等3件)、漁業12件の申請があり、原案のとおり承認された。
	(議案3) 知事許可漁業の許可に係る制限措置等の公示案について(諮問)	知事許可漁業のうち、まぐろはえ縄漁業、さんご漁業及び潜水器漁業について、知事より公示案の諮問があった。委員からは異議なく、問題ない旨答申する事務局案のとおり承認された。
	(協議事項1) ウミガメの採捕基準の変更について	ウミガメは、沖縄海区漁業調整委員会指示2第3号に基づいて、採捕の頭数の制限を設けており、承認に当たっては「ウミガメの採捕承認の判断基準」に基づいて、承認数を決定しているが、アオウミガメについては、承認申請数の減少と採捕実績の低迷が続いているなかで、頭数の増加による藻場の食害が問題となっているため、承認基準を緩和する基準の変更の事務局案を提示したところ、原案どおり承認された。
	(協議事項2) ソデイカ採捕に係わる委員会指示の発動に向けたアンケートの実施について	10月から発動する新たな委員会指示を策定するために、漁協や漁業者等の関係者の意向を調査するアンケートを行う予定である。そのアンケートの実施と内容について、事務局案が提示したところ委員からの意見を汲み取り、事務局と会長での調整を行った上で、実施することになった。
(協議事項3) 令和4年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議に係る要望提案等について	昨年と同じ3件に加えて、新規1件の合計4件を提案することについて、協議を行った次の委員会において、議案として提案する予定である。	

	開催日時・場所	議 題	内 容
第5回	令和4年8月19日 13時30分～15時10分 沖縄県水産会館4階 中研修室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が3基(3漁協)あり。全て原案のとおり承認された。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	漁業7件の申請あり。原案のとおり承認された。
		(議案3) 令和4年度全漁調連九州ブロック会議に係る要望議題等について	7月の海区委員会で協議した継続3件、新規1件を提出したところ継続審議となった。
		(協議事項1) ソデイカ採捕に係る委員会指示の改正に向けたアンケートの実施状況について	ソデイカ委員会指示の発動に向けたアンケートの結果、時期に希望する漁期としては、現行の漁期(12-5月)が53%で、それに次ぐのが11-5月の漁期で31%だった。漁具(旗数)は65%が現行のままを希望していることがわかった。委員からは、属性なども含めた詳細な分析を要求されたことから、次回の委員会で詳細な分析結果を提示することとした。
		(報告事項1) くろまぐろ知事管理漁獲可能量の変更について(事後報告)	くろまぐろ(小型魚)及びびくろまぐろ(大型魚)の令和4管理年度知事管理漁獲可能量について、前期の漁獲実績が超過したことから、留保枠から充当し、残りの留保枠を後期の漁獲可能量に割り当てる変更を令和4年8月5日付で設定・公表したことについての報告があった。
		(報告事項2) ウミガメの採捕に係る委員会指示違反の疑義案件の調査報告	令和4年7月14日、久米島町で発生したアオウミガメの大量死事案について、県水産課から報告を受けたことから、その報告を行った。